

調布まち会だより

No. 6

2001冬号



仙川駅の桜

発行：特定非営利活動法人調布まちづくりの会 / TEL&FAX：0424-88-4022
 〒182-0024東京都調布市布田1-20-12-203 / <http://www.fukuda.is.uec.ac.jp/cmn/index.htm>
 発行責任：大久保喜正 郵便振込口座：調布まちづくりの会 00150-1-136749

地域通貨でまちが元気に！？

調布市まちづくりの会では、いま地域、コミュニティを元気にする道具として注目されている、地域通貨検討のため、12月19日の「市政楽習会」に、経済評論家の森野栄一さんをお呼びしてお話を伺いました。森野さんは事例も多数調査され、地域通貨の著書もあります。以下にお話の要点を紹介します。

【地域通貨とは？】

国が発行する円などの「法定通貨」とは違い、地域コミュニティが独自に発行し、幅広いサービスやモノへの支払いに用いて、地域やグループの中で循環させていく通貨です。「人のつながりをつくり、地域の支え合いを復活させる」ことに加え「活性化を図る手段」として期待されています。地域経済が閉塞している原因の一つに大きなチェーン店が郊外に出店し、消費者がそちらに回って、まちの商店街が衰退していることがあります。地域通貨の効果はヒト、モノ、カネが地域で循環しながらジワジワ漢方のように利いてきます。この効用は商店街にも誘導できます。地域通貨には、その地域内で使うという方向性を与えることができ、使う人相互の感謝の気持ちが通貨となって表れ、地域内で交換されるのです。

【地域通貨の事例】

総武線西千葉駅前の「ゆりの木商店街」と市民がピーナッツ(略してピー)を発行しています。ここでは通帳(大福帳)方式で、会員が商店街で買い物の際に5%を地域通貨で払います(各自持っている通帳に、店側は5%分プラスの記入、お客さんは5%分マイナスを記入)。この場合、お客さんは5%の割引感となります。商店はたまったプラスのピーを、地域の福祉作業所に寄附しています。寄附された福祉作業所は通所している人にもピーで支払う

ので受け取った人は5%の地域通貨を使用するために、残りの95%分のお金を商店街で使うことが期待できま

す。また、交換する時にお互いに「アミーゴ」と言い握手を交わしますが、これが病みつきになる人もいるようです。

この商店街では地域通貨導入以前と比較して売上が6%伸びています。また近隣の農村地帯の方々にピーナッツを介して産地直送販売もしてもらっており、通常の産地直送よりも手応えを感じているようです。地域通貨の管理は商店街近くに事務所をもつ千葉NPOセンターで行っていて、毎年1回会員の通帳を集め、プラス分1%をセンターが手数料として戴くことになっています。すなわち会員のプラス分は毎年1%目減りすることになります。

(その他、北海道、滋賀県、愛媛県、外国の例などを紹介いただきました。)

【地域通貨の特徴】



トマトくん

・地域通貨により話しきっかけができコミュニケーションのツールにもなります。

・人どうしの貸し借りが目に見え、また

森野さんを囲んで市政楽習会



気軽にお礼ができます。

【地域通貨導入のポイント】

・最初は仲の良いグループでやって、徐々に拡大していく方が、初めから全市的にと地域全体で大々的に行うより良いのではないのでしょうか。

・できること、やってほしいことがうまくまわる仕組みをつくる、例えばイベントをやるが必要でしょう。

・とにかく試験的に組織内で交換してみてもどうでしょうか。

主な質疑

Q：今ある地域通貨の数は？

A：世界では2500とも3000とも言われています。日本では各都道府県に数カ所程度でしょうか。

Q：やっぱり「円」に勝るものはないと思いませんか？

A：人が信じられないことはあるでしょうから仕方ないでしょう。程度の問題で、頼れるのも頼るのも人、ということも真なので、地域で安心して暮らしていくための材料の一つなのでしょう。円も万能ではないので、その隙間を埋めるのが地域通貨導入の目的の一つです。(まとめ：大和田)

第10回

おしゃべりサロン相互塾

やってみよう初めてのパソコン 中高年パソコン事始めー

おはなし 調布パソコンサークルと受講者のみなさん

12月18日の第10回おしゃべりサロン相互塾では、8名のスピーカーが中高年パソコン教室の体験などを発表。41名の来場者でにぎわいました。

まず教室の概要紹介から始まりました。「高齢者や障害者ほどパソコンが必要な時代が来る。」といわれます。この中高年のためのパソコン教室はまちづくり市民会議が、学校の空き時間を市民のパソコン学習に開放することなどを提案したのを受け、市立中学校の教室を借りて、市民グループの調布パソコンサークルと教育委員会が共同で開催しているものです。既に3回開催され約80名の方が修了し、応募倍率は平均16倍強の人気です。

先生役は現役の中学生から60才代のボランティア、生徒は50から90才近い市民。おじいちゃん、おばあちゃんに孫ほどの年頃の中学生在が教えたり、教師が生徒に教わったりと言う微笑ましい場面も見られたとのこと。



こと。白井朝子さん(小島町)はご長男から頂いたノートパソコンで、友人や大阪の娘さんへせっせとメールしているとのことですが、パソコンにつないだ電話線を戻し忘れて、一日中電話が繋がらなかったという大失敗もあるようです。夢は、お母さんの歌集を形よく纏めること。阿部毅さん(染地)の

ていたとか。暮れには念願の写真入り年賀状も完成！北川さん(染地)は教室終了後1カ月後にパソコンを購入したので、いざやろうとすると忘れていたことが多く、メールを使うまでに大変苦労したそうですが、今ではアメリカの姪御さんとのメールを楽しんでおられます。



「高齢者ほどパソコンが必要」でも、どちらかと云えばはまってしまおうです

続いてパソコン教室を修了した方の体験発表。能勢貞一さん(深大寺東町)は、ご夫妻でパソコン教室に当選した幸運な方で、早速ワープロソフトを使い、夫婦協力して写真入りのパンフレットをつくって大人気を博したとのこと<2>

楽しみはお孫さんとのメール交換。時々写真が届いて大喜びだそうです。インターネットは、旅行の情報収集などに利用している様子で、最近ではデジカメにも手を伸ばし始めたとのこと。パソコンに触ったこともなかったという笹岡和枝さん(緑ヶ丘)は受講を機にパソコンを購入。ご夫妻で悪戦苦闘の末、デジカメの写真をメールで送れるようになったとのこと。でも最初は、メール届いた？と何回も電話し

・・・皆さん頑張ってる！

インストラクターの立場から、市立6中3年生の曾根脇君(菊野台)の感想は、「その場でわかったつもりでも家に帰ったら出来ないことも多いようですね。」斎藤よし子さん(下石原)は第1回教室の受講者でしたが修了後もいろいろな講習会に通い、11月のパソコン教室では教える側に加わった方。都立高で行う都民向けパソコン教室から、自分に合ったものを見つけるのがよい、と上達の秘訣をアドバイスしていました。

「相手に与えると共に自分も得るということをまさに実感できました」とはあるボランティアの感想です。〔発表の様子は調布ケーブルテレビで2/24～3/2に放送予定です〕(矢嶋)



星とハートとダイヤ

第 9 回

おしゃべりサロン相互塾

“調布”の由来を探る

おはなし 小林守さん(調布まちづくりの会会員)

11月27日は語り手の熱弁がほとばしり出ました。ひょんなことから、“てづくり”と“たづくり”が微妙に違うことを知った小林さんは、調布という地名の源はどこにあるのかと古文書などを調べに国会図書館などへ出向いて資料を探され、分厚いファイルが数冊にもなった。そして、丹念にその由来を調べられたそうです。

“調布”という地名の由来を万葉集などから読み解き、藤原定家の直筆の歌をスクリーンに映して示されたので、説得力がありました。平安時代の辞典である「和名類聚抄」にも記載される、麻織りの高級な布「てづくり(万葉仮名で“豆久利”と書いた)」を後世「たづくり」と読み変え、さらに「て

づくり」に、往時税として納めた安物の「調布(“つきのぬの”と読んだ)」の字を当て(名所歌集、江戸初期) ついに「調布=たづくり」(絵本通宝志、江戸中期)となったことが示され、歴史の面白さが身近にあることを知りました。そして、この地が布づくりの伝説にも合うと考えられていたこともあって、明治22年4月1日に、“調布町”が誕生したということのようです。そして、地名だけに留まらず、“調布の臼”も話題になりました。

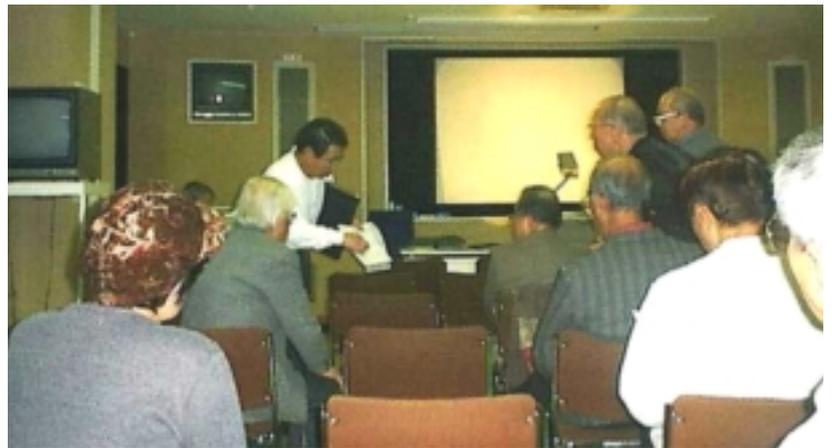
参加者は20名と、相互塾とし

ては比較的多く、調布そのものが話題であると人は集まり、調布に詳しい方の質問もあって、話に花が咲くのだなあ、と分りました。

書いていただいたアンケートには、「学識の深さ、研究熱心な所に驚きました」、「難しい話を楽しく聞かせていただいた」、「もっと時間が欲しい」、「この続きを聞きたい」とあって、今後への参考になりました。市井の人が興に乗ると、こんなにも素晴らしい成果を成し遂げてしまうのだ、ということを私たち聴衆が改めて知ることができた夜でした。(森下記)



UFOと遊ぶ



まちづくりと都市計画 - その2

Q (前回のよう)近所の問題に気づいたとしたら、まず始めにどうしたらいいんでしょうか。

A. まず皆さんが思いつくのは、市役所に行って何とかしてくれと言うとか、市政サロンで市長に要望するというのでしょうか。でもこの方法だとすぐ解決することは希で、近年、高い建物が建つようになったとか、公園の使われ方が変だとかいう問題は、なかなか解決できません。他の人はどう思っているのか分かりませんね。

地域の問題は、住民の方々が問題を共有し、改善方法を模索し、自らも加わって改善していくという、住民の自主性に根ざした解決方法をとることが必要だと思います。というのは、道路や公園などをつくら、管理するのは行政ですが、建物を建てたり公園を使うのは住民の皆さんご自身だからです。全市を相手にす

る市役所は、個々の問題にすぐ関わってくれないかもしれませんね。

調布市には、こういう住民の皆さん

の自主的な活動を支援する制度があります。まず地区の方々が集まって協議会というものをつくり、市はそれを認定し、地域を調べたり、勉強したり、将来のまちの計画をつくることにかかる費用の助成や専門家の派遣など支援を用意しています。

協議会には2種類あって、道路や建物に関するルールづくりのような場合は地域整備課が担当する「街づくり協議会」、コミュニティ活動や地域学習などの地域活動のようなものに対しては、文化振興課が担当する「地区協議会」があります。地域の問題に気づいたら、気軽に相談してみてください。(大和田)

まちづくり
勝手にQ & A



シンボル道路部会から

調布駅 深大寺参道間のシンボル道路(3・4・30号線)は甲州街道でストップしています。

畑地の真中を貫いた武蔵野市場 藤和ホームズ前(調布ヶ丘3丁目)間323m(幅員は16m)は、約1年前に買収が終わっていますが、11年8月の着工予定は大幅に遅れて、未だに目途が立っていません。この間に、都市計画道路の基準は歩道を1m拡幅する方向に変わっており、道づくりも、車中心から歩行者重視の考え方に少しずつ動いています。

3・4・30号線の道づくりについて、

まち会でも何度か話し合いが行われましたがその要点は次のとおりです。

この道路は広域道路としての機能は持ち得ない。多くの市民は、調布駅 深大寺間の生活道路的な道を期待しており、計画の見直しを望んでいる。

国分寺崖線を横断する野川以北は、自然環境保全を重視した道づくりをすべきである。

計画道路沿いにはすでに環境基準を越える大気汚染があり(本紙第3号参照)市は自転車、歩行者の便宜と安心を優先した道づくりをすべきだ。

後世に悔いを残さない道づくりのために、着工遅れを「計画を見直すチャンス」として生かすことができないか。

さて、皆さんはどう考えますか。調布市の方はどうですか?ここには、どんな道が相応しいか一緒に検討していませんか。(矢嶋)

上の原稿から1ヶ月くらい経たが、1月末頃からこの道路予定地で水道用配管の埋設工事が始まった。補助金が直ぐ出る状況にはないと市から聞いていますが、何かの動きが感じられます。

~これがうわさのニュースレターmini~



ニュースレターmini
調布スケッチシリーズ

ニュースレターminiはメーリングリストに加入していない会員向けに毎月1回発行している調布まちづくりの会のスケジュール案内葉書です。

調布まちづくりの会のような市民団体において、ホームページやメーリングリストはとても重宝しますが、そういった便利な道具が普及すればするほど、その道具を使わない方に対しても出来る限り同じ情報を提供するという姿勢が重要になります。そのような思いから実験的にスタートしたのがこのニュースレターminiです。調布まちづくりの会の集まりや催しだけでなく市や他団体の催しも紙面の許す限り掲載しています。

しかし実はニュースレターminiにはもうひとつのポイントがあります。沖崎剛氏の描くスケッチです。第1回目のシリーズでは多摩川から深大寺までのシンボル道路予定地周辺を取り上げています。必ずしも旧所名跡の類ではありませんが沖崎氏の優しい視線を通して描かれる風景は大変好評で、このスケッチを集めた絵葉書セットの作製も検討されています。(大塚)

第2回旧大町小学校跡利活用WS開催

1/20(土)、調和小新校舎完成に伴って小学校としての任を終える、旧大町小(現調和小)の利用に関するワークショップ(以下WS)が開催されました。雪も降り出す寒い日にも関わらず50名を越える参加があり、賑やかなWSとなりました。

前回(昨年12月2日実施)より一歩進めて、今回は校舎や校庭の具体的な使い方を平面図に書き込みながら話し合いが行われました。各参加者は当然立場も意見も違うのですが、他の人たちの意見にも耳を傾け、和やかながらも活発な議論が交わされました。現時点では、まだまだ陣取り合戦のような面もありますが、旧大町小学校が新しい施設としてスタートするまでには、

もう少し時間があります。それまでに何とか多くの人の理解が得られるような形を探っていきましょう。

【このWSは調布市より委託を受けた調布まちづくりの会が企画運営を行なっています。】関連ホームページ紹介

<http://member.aol.com/Architetsuya/Ohmachi.htm/>

3/3(土)まちづくり博覧会

”まちづくりを楽しみましょう”というイベント、まちづくり博覧会が杉並区東高円寺駅(丸の内線)近くのセシオンで開催されます。3/2日(金)夕は、フィルムフェスタで震災の映画上映+前夜祭。3日はグループフォーラム・まちづくりトークが行われ、展示コーナーも設けられます。調布まちづくりの会も活動パネルを出展します。出かけてみませんか?(まち博事務局:03-3431-9558)

まちづくり交差点

ここでは市内でおこるまちづくりの動きを紹介します。皆さまからの情報をお待ちしています。

凸凹山ワークショップ 市民参加の公園づくりはじまる！

「大切な緑を守り育てるために」という表題で、調布市の緑と公園課は、2000年6月20日の市からのお知らせで『布田崖線(上石原2-42-2)について、凸凹山児童公園との一体利用を図り、水と緑のネットワークとして整備するための基本構想を策定します。親しみのある公園施設にしていきますので、ぜひご意見をお寄せください。』と呼びかけました。これを皮切りにこの活動は始まりました。場所は、若宮八幡神社の西側の布田崖線を含む市所有の土地です。そのうち教育委員会所有の部分は平らな場所ですが、ほとんどは崖線緑地の斜面地です。

2000年7月に現地見学会と簡単なアイデアを出し、その後も市民有志が市の緑と公園課と会合を持ち検討、活動しています。10月には、グループでテーブルを囲んで、意見を出しあいました。そして12月には地元の方に呼びかけて、現地で実際にその場を楽しんでみる活動を行いました。さらに、一

部の熱心な市民たちは、正月早々に、現地の敷地模型づくりまで行いました。

もちろん、すべて開かれた活動となっていますが、まだまだ広報不足は否定できません。市民参画での具体的なモノづくりは、調布市もはじめての取り組みでしょう。一連の過程をみると、市の公園管理・建設部隊を市民参加コーディネイト役に実践を通じて変革しようとしているとも言えます。

この変わろうとし、変わりつつある公園づくりに共に取り組むことは、なかなか趣深い経験です。市と市民、市民と市民の想いが重なるには、まだ時間がかかることでしょうし、また出来上がった公園の管理体制についてもまだまだ議論すべきことが山積みです。

参加者の中からは、市民による公園管理のアイデアなどが出ています。その他の意見では「何もしないほうがいい」「自然観察の場所に」「遊具は要ら



公園で遊ぶ

ない」「プレーパークに」「ゆっくりと造って」「湧水を活かして」などが出ていますが、まだまだこれからです。

2月3日のワークショップでは、これまで出された意見を集約して作成された4案をベースに、参加者が意見を出し合いました。これからもしばらく検討は続きます。とにかく皆さん、参加してみてください。お問合せは、緑と公園課 81-7081へ (発信:鉄矢)

参加した市民が開いたホームページ
<http://www.geidai.ac.jp/abs/maeno/tetsuya/DecoBoco.htm>

TMO

商店主たちとまちづくり

調布市中心市街地活性化の計画は商工会が中心となって国領・布田・調布の商店主の皆さんが作っています。たとえば、旧甲州街道の一方通行化があります。これらの案が活性化のきっかけとなるには、より多くの方々の参加が必要です。今までも住民参加の形式で開かれてはいたものの、数えるばかりの市民の参加です。今後にもむけ、いろいろと考えなければならぬ問題も多く含まれています。 <発信:鉄矢>

問合せは調布市産業課へ

0424-81-7184

ちょうふ環境市民懇談会

自然環境をベースにした調布の諸問題について、市民・事業者・行政がパートナーシップにより、議論をしたり意見交換、情報交換、協働作業を行う場として発足しました。どんな問題でも関わること参加することから始めてみませんか。調布を自然環境の面からよりよいものに変えることができるのは「調布が好きなあなた」です。 <発信:尾辻義和>

情報発信のニュースレターは環境保全課窓口においてあります。

連絡調整会議2/22(木)18:30~20:30 市役所4F第4会議室

(仮称)人間樹林の会

ちょうふ環境市民懇談会と共に設立した会です。多摩丘陵や現地で雑木林や自然との係わり合いについて学びながら人間町崖線樹林の将来像や今後の管理・運営方法を見つけていきたいと考えています。1/14の現地観察会に続き、第2回勉強会を企画しました。弁当・水筒・筆記用具・防寒具持参でご参加を。 <発信:江刺>

3/10(土)10:00~14:00 青淵神社前集合

市政楽習会

市政情報の公開請求の実践演習報告

～ 情報公開制度の使いやすさ調査 & 議員の行政視察旅行調査から ～

市政楽習部会では、「まちづくりの基本は、市と市民の情報の共有から」との考えのもとに、出前講座を利用して、市政を楽しく学ぶ『楽習会』を行ってきました。

2000年1月および2月の2回、調布市の出前講座を利用して、1999年9月市議会で可決された、「全部改正情報公開制度」、「改正個人情報保護条例」を楽習しました。4月から施行されるのを待って「情報公開制度」を利用し、市政情報の公開請求の実践を行うことにしました。

市政情報の公開請求をしました

情報開示の実施機関は市長、教育委員会、選挙管理委員会、農業委員会、監査委員会、固定資産評価審査委員会および議会です。さて、市政の「何を、どんなことを」知りたいのかが問題です。この中で市長、教育委員会についても知りたいことが沢山ありますが、私たちの意志決定権を託し一番身近であるはずの議会について実は何も知らないことに気づきました。調布市の市議会議員定数はご存じの通り30名。議員報酬以外に研修費、旅費（普通旅費、特別旅費）などがあります。毎月の高額ともいえる(?)報酬の他に、研修費や旅費を使ってどのような研修をし、それを市政にどう生かしているか素朴な疑問を持ちました。そこで、議員視察についての情報公開請求を試みることにしました。

4月12日情報公開請求手続き開始、「平成11年度 議員管外旅費の明細の分かるもの」。再度4月24日、「平成11年度において実施した管外旅費の伴う各常任委員会」について、その日程が分かるもの「行政視察報告書」の公開請求をしました。

4月28日情報公開決定通知書受理し5月12日公開資料の閲覧をし、各委員会の「行政視察日程」と「報告

書」を見ることができましたが、その内容に唖然としました。みなさんは定例市議会を傍聴されたことがありますか?。また、予算書の中の議会費を読んだことがありますか?。そのご感想はいかに!!

調布市議員報酬額

区分	給料・報酬の月額 (12.4.1現在)	期末手当 (11年度支給割合)
報酬	議長	640,000円 6月期2.05月分
	副議長	580,000円 12月期2.35月分
	議員	550,000円 3月期0.55月分
		計 4.95月分

(12.12.20市報による)

東京市民オンブズマン 都内区市一斉情報公開請求 行動報告から

その様なときに市政楽習会に三鷹の市民団体から、2000年夏(8月19,20日)に全国市民オンブズマン連絡会議全国大会が東京で開催されるのを前に、東京市民オンブズマンが行う、議員の視察旅行について各団体が協力して都内全区・全市に対する一斉情報公開請求行動への参加の呼びかけがありました。

調布市の現状が分かってきたところで、他区・他市ではどのようになっているのかということについて強い関心がわき、参加しました。その結果をお知らせします。

A 調査の目的

区・市議会議員が行っている視察旅行の実態の調査

区・市における情報公開制度の使いやすさの調査

B 請求の対象

平成11年度の区・市議会の常任および特別委員会(議会運営委員会を含む)の宿泊を伴う国内視察の日程および費用が分かる資料と、議員が書いた視察報告書と、視察先を検討したときの議論の内容が分かる資料

C 調査の結果

情報公開請求採点表の採点基準については7ページの別表を参照下さい。

評価

1. 全体について

ほとんどの自治体でコンビニ並のコピー料金が実現され郵送での請求やコピーの郵送に応じるなど、予想以上に利用者の立場に立った運用が広がっている。そうした中でコピー代以外に開示手数料を要求することは、費用の面で利用者に過大な負担をかけることになっており、手数料を徴収している自治体が下位に集中するのはやむを得ないといえる。

手数料での「マイナス」がないにもかかわらず下位に低迷している自治体は、情報公開制度の「使い勝手」が非常に悪いといえ、利用者の立場に立った情報公開制度への意識改革が急務。

請求件数が少なく、職員が実務になれていない自治体も多い。そのためか、問題のある運用も散見される。例：全部開示決定を出しながら、一部の文書の不存在を口頭で説明、非開示部分を「黒塗り」ではなく修正液で消してコピーetc.

2. 情報公開制度について

大半の自治体が全部開示のため、評価の対象としなかった。非開示の理由としては、議会が実施機関となっていない、議事録や報告書を作成していないため文書不存在、など。全面非開示は江東区のみ。



3. 視察内容について

視察先

関東近県はほとんどない。東京から300キロ以内には見るべきものがない？視察目的から、遠方へ行く必要性が感じられない。例：秋田市放置自転車対策（練馬、・都市整備土木）

視察先決定までの議論

そもそも、記録が残されていない自治体が多数。「正副委員長一任」といった形で、全く議論のなされていない自治体がほとんど。議員自身の「自責の念」が表れている場合も。

報告書

そもそも作成していない自治体が少なくない。職員が作成したとしか思えない、通り一遍の内容の報告書がほとんど。例外的に、議員の「感想文」添付（小金井市、福生市）。

費用

費用対効果の点で極めて疑問。多数の職員の随行は無駄。中には「区長が随行」というところも（北区）。

以上のような結果でした。調布市は14位でしたが内容は似たり寄ったりです。都内区市一斉情報公開請求についての問合せは東京市民オンブズマン・弁護士、谷合周三（中村・谷合法律事務所TEL 03-3501-8822）まで。なお都内区市一斉情報公開請求を実施した内容は、8月18日オンブズマンが記者会見して公開し、23区27市の首長および議長に送付されています。

調布市の行政視察内容について

一度情報公開開示された資料については情報公開請求しなくても行政資料室で閲覧することが出来ます。ご利用ください。（新井田）

*採点方法

請求者資格	可能な請求手段	請求から公開決定までの日数	コピー代	手数料	開示文書郵送の可否
制限なし 20点	ファックス・郵便 20点	0日～5日 20点	10円20点	0円 0点	可 20点
制限あるが請求可 10点	郵便 10点	6日～10日 10点	20円10点	市外あり -25点	不可 0点
制限あり 0点	直接窓口 0点	11日～5点	30円 0点	あり -50点	

情報公開請求採点方表（2000年8月18日訂正）

順位	自治体名	請求者資格	可能な請求手段	請求から公開決定までの日数	コピー代	手数料	開示文書郵送の可否	合計	議会が実施機関か
1	小金井市	20点	20点	20点	20点	0点	20点	100	
1	狛江市	20点	20点	20点	20点	0点	20点	100	
3	杉並区	20点	20点	10点	20点	0点	20点	90	
3	中野区	20点	20点	10点	20点	0点	20点	90	
3	港区	20点	20点	10点	20点	0点	20点	90	
3	三鷹市	20点	20点	10点	20点	0点	20点	90	
7	板橋区	20点	20点	5点	20点	0点	20点	85	
8	立川市	10点	10点	20点	20点	0点	20点	80	
8	田無市	10点	20点	10点	20点	0点	20点	80	
8	武蔵野市	20点	10点	10点	20点	0点	20点	80	
11	渋谷区	20点	10点	5点	20点	0点	20点	75	
11	国立市	20点	10点	5点	20点	0点	20点	75	
11	日野市	20点	10点	5点	20点	0点	20点	75	
14	千代田区	10点	10点	10点	20点	0点	20点	70	
14	練馬区	10点	10点	10点	20点	0点	20点	70	
14	目黒区	10点	10点	10点	20点	0点	20点	70	※
14	あきる野市	0点	10点	20点	20点	0点	20点	70	
14	調布市	10点	10点	10点	20点	0点	20点	70	
14	羽村市	10点	10点	10点	20点	0点	20点	70	
20	世田谷区	10点	10点	5点	20点	0点	20点	65	
20	多摩市	10点	10点	5点	20点	0点	20点	65	
20	町田市	10点	10点	5点	20点	0点	20点	65	
23	江戸川区	10点	10点	20点	20点	0点	0点	60	
23	大田区	10点	0点	10点	20点	0点	20点	60	
23	国分寺市	0点	10点	10点	20点	0点	20点	60	
23	保谷市	10点	10点	10点	10点	0点	20点	60	
27	荒川区	10点	0点	5点	20点	0点	20点	55	
27	台東区	0点	10点	5点	20点	0点	20点	55	
27	文京区	10点	20点	5点	20点	0点	0点	55	
27	青梅市	0点	10点	5点	20点	0点	20点	55	
27	福生市	10点	10点	5点	10点	0点	20点	55	
32	武蔵野市	10点	0点	5点	10点	0点	20点	45	
33	北区	20点	0点	10点	10点	0点	0点	40	
33	墨田区	10点	0点	10点	20点	0点	0点	40	
35	品川区	20点	20点	5点	20点	-50点	20点	35	
36	昭島市	20点	10点	10点	20点	-50点	20点	30	
37	稲城市	0点	0点	5点	20点	0点	0点	25	
37	東村山市	10点	20点	5点	20点	-50点	20点	25	
39	府中市	10点	10点	10点	20点	-50点	20点	20	
40	八王子市	10点	10点	5点	20点	-50点	20点	15	
40	東大和市	10点	10点	5点	20点	-50点	20点	15	
42	清瀬市	0点	10点	5点	20点	-50点	20点	5	
43	東久留米市	20点	0点	5点	0点	-25点	0点	0	
44	小平市	0点	10点	5点	20点	-50点	0点	-15	
以下失格									
順位	自治体名	請求者資格	可能な請求手段	請求から公開決定までの日数	コピー代	手数料	開示文書郵送の可否	合計	議会が実施機関か
1	葛飾区	20点	10点	5点	20点	0点	20点	75	×
2	江東区	10点	20点	5点	10点	0点	20点	65	×
2	新宿区	10点	20点	5点	10点	0点	20点	65	×
2	豊島区	0点	20点	5点	20点	0点	20点	65	×
5	足立区	10点	0点	5点	10点	0点	20点	45	×
6	中央区	10点	10点	5点	20点	-50点	20点	15	×

2/20 市政楽習会のお知らせ

調布市では、スポーツとリクリエーションを通じて、子どもたちから大人までみんなが参加するまちづくりコミュニティづくりが始まっています。埼玉県志木市の宗岡第3小学校で、このようなまちづくりを実際にやってこられた金山康博さんにお話をうかがいます。一緒にお話をききませんか？（小川、新井田）

いつでも どこでも だれでも ぶらっと参加できる

スポーツリクリエーションでまちづくり ~生涯学習まちづくりの視点から~

2/20(火) 19:00 ~ 21:00 総合福祉センター

なわとびと洗濯もの



シリーズ 調布今昔 ~京王多摩川駅前にあった弁慶橋~



大正末期頃の弁慶橋。撮影年は不明。
(写真：調布市教育委員会発行「調布今昔」より)



2001(平成13)年の京王多摩川駅周辺。高架を挟んで右が百花苑跡地、左が駅前広場や商店街。多摩川方面(南)に向かって撮影。

昭和30年ごろは、京王線の調布駅から分かれた線は今のよう多摩川を渡って橋本の方までは伸びておらず、京王多摩川駅が終点でした。その場所は今の駅より北側にありました。改札口を出ると、目の前には大きな池が左右に広がっていて、向かい側に渡るために『弁慶橋』が架けられていました。手前の橋の奥に見えるのが弁慶橋です。このあたり

は湧き水が豊富で、桜堤通りと府中用水と線路に囲まれたところまで池が広がっていました。池の水は湧き水が溜まったもので、池ではボートを漕いだりして遊んだそうです。

その後、池は埋め立てられマンションや大映撮影所になりました。今は撮影所もなくなり、駅も現在の場所に移動し、駅前広場と京王多摩川商店街になっています。(大久保)



中央のひょうたん型が菖蒲池があった位置。
(写真は「空から見た東京26市(日本交通公社)」より)

~インフォメーション~

3・4 みんなのワークショップ 「景観2001」参加者募集!!

昨年度のワークショップ「景観1999」に続く第2弾です。今回は「景観からのまちづくり~ケーススタディ編~」として、調布駅から品川道までを対象に、実際にまちに出て、それから深くみんなで話し合います。参加者は「店のオーナー」「建設業者」「ビルオーナー」などの立場になり、話し合いをします。あなたのアイデア・視座が調布の都市計画に響きます。たくさんの方のご参加をお待ちしています。終了後、交流会(有料)も企画中です。

3/4(日) / 午後1時~4時半(参加無料) / 文化会館たづくり12階大会議場 / 主催：調布市 // 企画運営：調布まちづくりの会 / 問合せ：都市計画課 81-7439

おしゃべりサロン相互塾

- ・2/26 『調布不思議発見』作品合評会
- ・3/26 草花・樹木と語る
- ・4/9 わたしたちの庭からはじめるまち

づくり・オープンガーデンのすすめ
・4/23 コドモ、おまつり、オヤジパワー
いずれも、PM7:00~9:00 総合福祉センターでの開催です。

3/11(日) 調布ボランティアのつどい / 10時~4時 / 会場：調布駅前広場 / 昨年に続き、まち会も参加します。リサイクルバザー品を寄付してください。当日、まち会テントにご持参ください。

調布まちづくりの会定例会

3/7(水) 総合福祉センター団体室
4/4(水) " (予定)
5/2(水) " (予定)



自画像

調布まちづくりの会 入会案内

定例会

毎月1回、第1水曜日に(原則的に午後7時から)やっています。ぜひ一度のぞいてみてください。会員以外の方も飛び込み参加大歓迎です。

日程や場所は直接事務局へお問い合わせ頂くか、ホームページや調布まち会だより等でご確認ください。

入会申し込み

入会ご希望の方は、お手数ですが郵便振込みでお願いします。会費は、年2000円です。

郵便振込口座番号

00150-1-136749
加入者名 調布まちづくりの会

【編集後記】2001年記念号として8ページにしました。鉄矢もえちゃんのかわいい絵が、字だらけの紙面を明るくしてくれました。ねらいどおり家族で読める「まち会だより」になったでしょうか。次号(春号)の発行予定は4月です。ご協力を!(江刺&矢嶋)